

# 茶の里



発行日：令和6年2月28日  
 発行者：さはら小学校長 相田 清美  
 さはら小学校だより 第22号  
 TEL 0295-78-0009

## コミュニティースクール委員 学校訪問

昨年5月から、本校・依上小・西中の地域の代表の方と学校が連携して学校改善・児童生徒の健全な育成のための手立てを話し合い・活動を進める「学校運営協議会（コミュニティースクール）」が始まりました。これまでに西中・依上小で授業参観をしたり、学校や地域の困りごとを話し合ったりしながら協力体制を作ってきました。今年度の最後は本校で「さはらっ子総会」の様子をご覧いただきました。今年度の「夢道場」を振り返り来年度への取組についての話し合いでしたが、社長からは、今年度の売上金の使い道について話し合って購入した「ロボット掃除機」がお披露目されました。また、来年度に向けて「草取りをしないで野菜を育ててみては」という斬新な意見も出て、来年度の活動への期待が高まりました。委員の皆様からも素晴らしい取組だとお褒めの言葉をいただきました。



## 体験活動の充実

5年生では、2日間にわたり林業・福祉体験の出前授業を行いました。大子林業指導所の方から現在の山の状況や作業の様子などを教えていただいた後、檜の間伐材で箸を作る体験をしました。森林を守る意味と大切さを知り、環境について考える機会となりました。

福祉体験では、大子清流高校から総合学科福祉系列の先生と高校生をお迎えし、お年寄りや目の不自由な方・体の不自由な方の体験をしました。体に重りをつけ、見える範囲を狭く、音を聞こえづらくする装置を付け、階段の上り下り、本を読むなどして不自由さを体験しました。車椅子にも試乗し、医療機器の素晴らしさにも触れました。「以前、車のすぐ前をわたっていたお年寄りを見かけたが、きっと見えていなかったのだろう。これからは声をかけたい。」と感想を発表する児童もあり、自分事として捉える機会となりました。



## 被災地へ土のう袋を送るプロジェクト

大子町子育てネットワークの船木先生からのご紹介で、日本全国様々な被災地に土のう袋を送って、苦しんでいる方を元気づけるボランティアを続けていらっしゃる「佐々木典明」さんをお招きしました。出身が東日本大震災の被災地であること、親戚の方や友達が何人もお亡くなりになられたこと等、涙ながらにお話くださり、このボランティアを始めたきっかけや土のう袋の使い道について説明してくださいました。子供たちも先生方もみんなで心を込めて土のう袋に絵とメッセージを書きました。直接被災地には行けないけれど、私たちの気持ちが伝わり、少しでも心を癒やしてもらえることを願いながら・・・



## 第16回キャリア教育優良校 文部科学大臣賞 受賞

これまでの「夢道場」の取組が認められ、今回の受賞となりました。「夢道場」がスタートして18年目、「さはらファミリー会社」が12年目という長い年月、この活動が継続できているのは、卒業生や保護者の方々、アドバイザーや地域の方々のお陰と深く感謝しております。東京での授賞式には参加できませんでしたが、先日、学校を代表して「さはらファミリー会社」社長が、教育長先生から賞状を授与されました。これからも、学校と保護者・地域が一体となって「夢道場」及び「さはらファミリー会社」へのご支援をお願いいたします。



## 3月の行事予定

11日(月)6年生を送る会  
 25日(月)～学年末休業日  
 13日(水)卒業式予行  
 22日(金)修了式  
 19日(火)第29回卒業式  
 29日(金)離任式